

# 平成 23 年度 教員免許状更新講習・シラバス

講座 番号	1	講座名	英語学, 英語文学, 英語教育の理論と実践					
担当講師	開催地	時間数	日程	主な受講対象者	受講定員	講習形式	試験方法	
S.L.ローゼン 西原 貴之 高橋 渡 R・スチュワート	広島キャンパス	12 時間	8 月 11 日 ~ 8 月 12 日	中学校・高等学校 英語科教諭	30 人 (最少開催 人員 5 人)	講義	筆記	
到達目標	英語学, 英語文学, 英語教育学の各分野において, 理論と英語教育への応用について理解を深め, 実践の基盤を育む。							
【講座の概要】								
<p>本講座は, 英語教育の背景となる基礎理論を学び, 実践への応用を図ることを目的とする。具体的な指導法を考察するにあたり, 次の各項目を中心とした講義及び実習を行う。1) 言語と思考と文化の関係を論じる言語理論, 2) 英語文学の言語的特徴を踏まえた読解指導, 3) 文化・社会・歴史的背景の中で読む英文学, 4) 「ジャンル・アプローチ」を用いたライティングと言語教授法。</p>								
【講座の内容】								
<p><b>講義 1: “Language, Mind and Culture” (担当: S. L. ローゼン)</b></p> <p>語学教育と異文化コミュニケーション教育にとって重要となる言語理論に焦点をあてる。一日目は, 言語と思考と文化の関係についての理論, 特に, ソシュール, チョムスキー, ウィトゲンシュタイン, サピア・ウォーフの仮説, 比喩研究など, 重要な理論を扱う。二日目は, 言語理論から得られる知見の英語教育への応用を試みる。クラッシュェンの「ナチュラル・アプローチ」がどのように日本の英語教育に適した教授法であるかを考察し, 語学学習における文化的, 言語的意味の重要さの点で, 多くの言語理論の知見とどのように一致しているかを示す。使用テキストは次のサイトで8月1日より, 無料入手可能である。  <a href="http://srosen5.tripod.com">http://srosen5.tripod.com</a>。本講習は英語で行われる。</p>								
<p><b>講義 2: 英語文学の言語的特徴を踏まえた読解指導 (担当: 西原貴之)</b></p> <p>英語文学は英語説明文とは異なる言語的特徴を持っている。しかしながら, 実際の読解指導では, 両テキストは特に区別されることなく扱われがちである。本講習は, 英語文学の言語的特徴を踏まえた読解指導について検討する。一日目は, 具体例を挙げながら英語文学の言語的特徴について整理をする。二日目は, 実際の英語文学を用いて, その指導や定期試験での設問について考える。</p>								
<p><b>講義 3: 文化・社会・歴史的背景の中で読む英文学 (担当: 高橋 渡)</b></p> <p>アイルランドの作家ジェームズ・ジョイスの短編 <i>Dubliners</i> (『ダブリン市民』) 中の短篇 ‘Clay’ を丹念に読むことを通して, 植民地文学について考察する。一日目の講義では, 基礎知識として, アイルランドの歴史と文化, ジェームズ・ジョイスについて話す。二日目の講義では ‘Clay’ を詳細に読み, 植民地文学について考察する。テキストは配布するが ‘The Online Books Page’ (<a href="http://digital.library.upenn.edu/books/">http://digital.library.upenn.edu/books/</a>) で電子テキストが入手出来る。出来る限り, 『ダブリン市民』(岩波文庫・新潮文庫など) と併せて前もって読んで欲しい。</p>								
<p><b>講義 4: 「ジャンル・アプローチ」を用いたライティングと言語教授法 (担当: R. スチュワート)</b></p> <p>一日目の講義では「ジャンル・アプローチ」という作文授業法を紹介する。この授業法の場合, センテンスやパラグラフよりも, むしろある種類の文章の全体に注目する。主な目的はそれぞれの文章の種類(ジャンル)の社会的目標, 全体の構造, そして言語的な特徴を明らかにすることである。この授業法を導入する方法も紹介する。二日目の講義では, 簡単に利用できるテクノロジー(ポッドキャストやウェブコミック, ユーチューブ等)の英語授業での利用法を紹介する。</p>								
【備考】 試験の際, テキストとノートは持ち込み可。								

注) 予備日は 8 月 18 日(木) ~ 8 月 19 日(金)とします。